

Gunma Prefectural Cancer Center



群馬県立がんセンターだより

第17号

発行 平成20年6月 群馬県立がんセンター

理 念

私たちは、患者さんの気持ちや尊厳を尊重し、安心と満足が得られる高度のがん医療を目指します

基本方針

- 1 患者さんの権利と意思を尊重します
- 2 思いやりの心で、適切ながん医療を提供します
- 3 教育と研修を充実し優れた医療人を育成します

新病院を開院して1年になりました

国道354や刀水橋（国道407）方面からがんセンター新病院の7階建ての建物を観ることができます。旧病院の解体工事がほぼ完了し、新病院の全貌が現れてきました。東毛地域の自然にマッチした建物と外壁タイルの配色に心がけました。外壁タイルの色は、たわわに実って風になびく麦の穂の色をイメージして、実物大の外壁サンプルを何度も何度も見比べて決めたものです。東毛の自然にとけ込んでいると自負していますが、いかがでしょうか。

さて、わが国では男性は2人に1人が、女性は3人に1人ががんでなくなる時代を迎えています。まさに“がん”は国民病であり、がんの征圧は国民的課題となっています。そこで昨年4月に「がん対策基本法」が施行され、その後各県において「がん対策基本計画」が策定されています。群馬県立がんセンター新病院は平成19年5月7日に開院しましたが、国や県のがん対策基本計画に合わせたかのような開院となりました。新病院では新しい総合医療情報（電子カルテ）システムを整備し、一段と医療の質の向上、安全性の向上、経営基盤の健全化を図りました。新病院開院直後には、慣れないこともあり何かとご不便やご迷惑をおかけしましたが、開院後約1年が経過し、ようやく持てる機能を十分に発揮できるようになりました。これも県民、市民の皆さんのご支援とご協力のお陰と感謝しています。

新病院は、延床面積32,200㎡余（1床当たり約100㎡）の鉄筋コンクリート造、7階建て（30.6m）、免震構造です。経験したくはありませんが、「震度8」の地震でも手術ができるということです。病床数は332床で、1フロア2看護単位の7病棟構成（1看護単位45床）です。約30%の個室割合を確保し、多床室は総て4床室で個室感覚の広い病室（1床あたり8㎡）になっています。北側の病室からは赤城山や男体山が眺望でき、入院患者さんからは「快適」との言葉をいただいております。1階外来には通院治療センター20床を配置し、通院で化学療法を行っています。外来は1、2階にあり、完全予約制でプライバシーを確保した24の診察室を配置し、がんの臓器別外来に対応し、待ち時間の短縮に努めています。受付番号表示での呼び込みで大丈夫かと心配しましたが、実際にトラブルはほとんどありませんでした。名前を呼ばず、マイクでの呼び込みも行いませんので、プライバシーが確保され、大変静かな待合いが実現しました。

群馬県立がんセンターはがん専門病院として、あらゆる診断・検査技術と治療手技を動員して、がんを治し、制圧すべく努力しています。平成15年4月に最新鋭のCT装置（マルチスライス16列）が、平成17年2月に1.5ステラMRIが導入され、平成19年5月からは新病院でPET-CTならびに3テスラMRI装置が稼働しました。また、モベトロン（術中・開創照射IORT）装置が導入され、現在、適応症例の検討を進めており、できるだけ早く実際の治療に活用していく予定です。これらにより格段に診断精度が向上し、がんの治療成績が改善しています。今後はより効果的な二次予防を実現するために精度の高い「がんドック」を計画しています。

患者さんやご家族に優しく解り易く、快適でゆとりのあるがんセンターを目指し、「すべては患者さんのために」を合い言葉とし、職員一丸となって研鑽努力してまいりますので、なお一層のご理解とご支援をお願いします。

院長 澤田 俊夫



がん患者さんと口腔ケア

歯科口腔外科
山城 正司



がん患者さんに限らず、口の健康に自信がなく、正しい清掃法をご存じない方は多いかもしれません。40歳以上の日本人の8割が歯周病に罹患しているとされ、疲れると歯茎が痛むという方は少なくありません。歯垢は1gあたり1000億もの細菌の塊であり、細菌は舌粘膜や義歯にも多く付着し、歯周病以外にも様々な全身疾患の一因となる可能性があります。口腔ケアにより高齢者の誤嚥性肺炎が減少したと報告され、口腔ケアはVAP（人工呼吸器関連肺炎）などの院内肺炎予防としてCDCガイドラインにも明記されています。

がん患者さんに口腔ケアを行う目的はがん治療に伴う様々な口腔関連合併症を予防・緩和することにあります。口腔関連合併症は多くのがん治療で出現します。頭頸部への放射線治療では口内炎が必発しますが、化学療法単独でも口内炎、口腔乾燥症、味覚障害などが出現することがあり、頭頸部や食道がんでは口腔ケアによって手術後創感染が減少したとの報告もあります。もちろん、がん治療に伴う免疫力低下は歯周病など歯性感染症の急性化や誤嚥性肺炎のリスクを高くします。また、ビスホスホネート剤と顎骨壊死の関連が最近問題となっています。これらの症状が重症化すると痛みなどにより食事が摂取できず、全身状態が悪化し、がん治療の継続が困難になり、入院は長期化しQOLの低下を招きます。

このようなわけで、がん患者さんはこれまで以上に口腔ケアに注意をはらう必要があります。がん治療開始前にかかりつけ歯科などでチェックしていただくのが理想的ですが、時間的にも精神的にも余裕がない方も多くいます。当病院ではそのような方のために歯科医と歯科衛生士が専門的指導をしています。当病院の患者さんは自立度が高く自力でケアを行える方も多いのですが、症状によってケアの方法を変えていく必要があります。続けていけるようにそれぞれの患者さんに合ったケアを行い指導後は回診などでチェックします。また終末期においても口腔ケアは患者さんの緩和にかかせません。

がん治療に際して口の中のことなどお困りの点などありましたらお気軽にご相談ください。

「限度額適用認定証」の利用について

1. 「限度額適用認定証」をご存じですか？

平成19年4月1日から、70歳未満の方が入院した場合の高額療養費の支給方法が変わりました。「限度額適用認定証」を医療機関にあらかじめ提示すると、窓口負担額が月単位（1日～末日）で一定の限度額に抑えられるため、一度に多額の現金を用意する必要がなくなります。

※ 限度額は申請者の所得区分により異なります。

※ 入院時食事療養負担金、差額室料、文書料などは対象外になります。

2. 「限度額適用認定証」利用の流れは？

この制度を利用するためには、

- ① 加入されている健康保険の保険者へ事前に申請する
- ② 保険者から「限度額適用認定証」の交付を受ける
- ③ 「限度額適用認定証」の交付を受けたら、すみやかに（入院前もしくは入院後ただちに）医療機関の窓口へ提示する必要があります。

3. 注意点は？

「限度額適用認定証」の交付を受けない方や、医療機関へ提示されない方については、従来どおりの窓口負担額（3割負担）をお支払いいただき、その後高額療養費の支給申請をすることとなります。

※従来（3割負担）のお支払いを済まされた後や診療を受けた月の翌月に「限度額適用認定証」を提示された場合、翌月からの利用とさせていただきます。

4. 問い合わせ先は？

利用手続きや制度の詳しい説明については、加入されている健康保険の保険者へお問い合わせください。また、当センター内『総合相談支援センター』では医療費のお支払いに関する相談をお受けしていますので、お気軽にお立ち寄りください。

国民健康保険にご加入の方・・・お住まいの市町村役場（国民健康保険担当課）
政府管掌保険にご加入の方・・・事業所を管轄する社会保険事務所
健康保険組合、共済組合等にご加入の方・・・各健康保険組合

診療科紹介

病理検査室

病理検査は来院される方になじみが薄いかも知れませんが、疾患の診断には大切な役割を担っています。病理の仕事はおおむね次のようなものです。

- (1) 患者さんの体から切り取った小さな検体の中にがん細胞がないかを調べます（生検診断といいます）。
- (2) 手術材料を詳細に調べて腫瘍の種類、浸潤の深さやリンパ管や血管への浸潤の有無、リンパ節の転移の有無などを調べます。さらに手術前に放射線療法や化学療法を受けた患者さんではどの程度がん細胞が生き残っているかを調べます。これらの情報は術後に追加の化学療法や放射線療法が必要かを判断する材料のひとつとなります。
- (3) 亡くなられた患者さんを解剖させていただき、死因、治療効果などを調べます。
- (4) 喀出された痰の中や甲状腺や肺の腫瘍に針をさして得られた細胞の中の悪性腫瘍の有無を調べます（細胞診といいます）。

病理検査には専門の資格を持った病理認定医、細胞診検査には専門の資格を持った細胞検査士と細胞診専門医が当たります。現在、当検査室は病理認定医と細胞診専門医の資格を持った医師2名、細胞検査士の資格を持つ技師2名を含む技師6名で標本の作製、診断、解剖業務にあたっています。これら従来の病理検査室の役割に加え、新しい業務が加わりました。遺伝子治療薬の登場です。例えば悪性リンパ腫ではCD20という抗原を細胞表面に発現することがあります。このような腫瘍にはCD20抗原に対する抗体を使って治療することが可能です。CD20抗原の腫瘍細胞の発現の程度を判定し、治療薬が使えるかを臨床医に伝えます。これから遺伝子療法が進歩すればますますこの分野での病理検査室の必要性が増すと考えています。

病理検査室

医療局 (病理認定医)		技術部検査第三課 (細胞検査士)	
臨床病理検査部長	部長	主任	主任
小島 勝	飯島 美砂	土田 秀	神山 晴美
			

情報コーナーが出来ました！

1階エスカレーター横に情報コーナーを設置しました。情報コーナーにはがんの病気・治療やそれに関する講演会のお知らせ、費用のこと、心のケア等の様々な種類のパンフレットが置いてあります。自由に閲覧できますので、ぜひご活用ください。また、※インターネットができるパソコンも設置しました（有料）。たくさんの情報に触れることにより知識が増え、今後の治療等を考える際の参考になると思います。しかし一方で、その情報が現在の患者さんにとって適切でない場合もあります。

“この情報は今の自分に適切か？” “もっと他に情報はないのか” 等の不安やご要望は、総合相談センターにご相談下さい。看護師、ソーシャルワーカー、臨床心理士がみなさんと一緒に考えます。

※インターネット利用時間 午前6:00～午後10:00 10分/100円



外来診療のご案内 (外来担当医一覧表)

平成20年6月3日～

診療科名		月	火	水	木	金	
第一外来	内科	消化器	野川 秀之 多賀谷蘭子	今 陽一 茂木 健太	野川 秀之 保坂 尚志	今 陽一 多賀谷蘭子	茂木 健太 保坂 尚志
		血液	五十嵐忠彦	五十嵐忠彦	村山佳予子	村山佳予子 村田 直哉	五十嵐忠彦
		呼吸器	湊 浩一 (午後/禁煙外来)	湊 浩一		佐藤 浩二	
	外科	消化器	岡 大嗣	澤田 俊夫 深井 康幸	鮫島 伸一 中村 哲之 米山さとみ	芳賀 紀裕 瀬瀬真一郎	河野 至明 岡田 寿之
		乳 腺	柳田 康弘 藤澤 友巳 平方 智子	柳田 康弘 藤澤 友巳 平方 智子	乳腺科医師	乳腺科医師	
		呼吸器			田中 良太		田中 良太 ストマ外来
第二外来	婦 人 科		長尾 昌二				
	歯科口腔外科	山城 正司 愛甲 勝哉		山城 正司 愛甲 勝哉		山城 正司 愛甲 勝哉	
	頭 頸 科	鈴木 政美 明石 健		鈴木 政美 藤城 芳徳		藤城 芳徳 小村 豪	
	麻 酔 科	高橋 利文			猿木 信裕		
	泌 尿 器 科	清水 信明 蓮見 勝	清水 信明 武智 浩之		蓮見 勝 (午前) 武智 浩之 (午前)	清水 信明	
放射線科	放 射 線	玉木 義雄 北本 佳住		玉木 義雄 北本 佳住		玉木 義雄 北本 佳住	
総 合 診 療		湊 浩一	澤田 俊夫	鮫島 伸一	今 陽一	河野 至明	

婦人科外来再開にあたってのご案内

昨年の秋以降、婦人科診療につきましては、休診となり、患者様には、大変ご迷惑をおかけしておりましたが、このたび、非常勤医師の手配が整い6月3日より、次のとおり外来診察のみ再開の運びとなりました。引き続き、ご迷惑をおかけいたしますがよろしくお願いいたします。

- ① 過去に当センターで治療を受けられ、定期検査および診察が必要な方
- ② 精密検査および治療を勧められている方
- ③ 入院手術および化学療法が必要な方につきましては、対応できる病院をご紹介させていただくこととなります。
- ④ 放射線治療でご紹介の方は放射線外来で受け付けておりますので、そちらへの受診をお願いいたします。

診 察 予 約 (初診、再診ともに予約制です。)

• **初診紹介予約制について**
当センターは「完全紹介予約制」です。初めて受診される方はあらかじめ電話で診療日時を予約していただき、診療当日は必ず主治医の紹介状(診療情報提供書)をお持ちください。また、再来の方も予約制となっておりますので、事前に予約をお願いいたします。

• **がん検診について**
当センターでは、がんの検診(一次検診)は行っておりません。市町村の検診や人間ドックをご利用ください。検診で異常を指摘された方の診療は行ってまいります。

予約電話 0276-38-0762

- 受付時間：午前9時から午後5時(休診日を除く)
- 電話予約は診察を希望する日の1か月前から前日の午後1時までをお願いします。

※ 休診日 土・日曜日、祝日、年末年始

面 会 時 間 午後0時30分～午後7時30分

群馬県立がんセンター

〒373-8550 太田市高林西町617-1
TEL 0276-38-0771 (代)
FAX 0276-38-0614
URL <http://www.gunma-cc.jp>

